

## ○本市の交通施策の取組みについて

資料2-1

長期計画（概ね20年）「市交通基本計画」を令和2年度に策定。短・中期（5年～10年）の目標を実現するため「市総合交通戦略」を令和3年度に策定し、公共交通関連施策を推進するために、交通事業者や関係機関の意見を踏まえて具体的な進め方を整理した「市地域公共交通計画」を令和4年度に策定して、段階的に公共交通関連の各施策を推進。

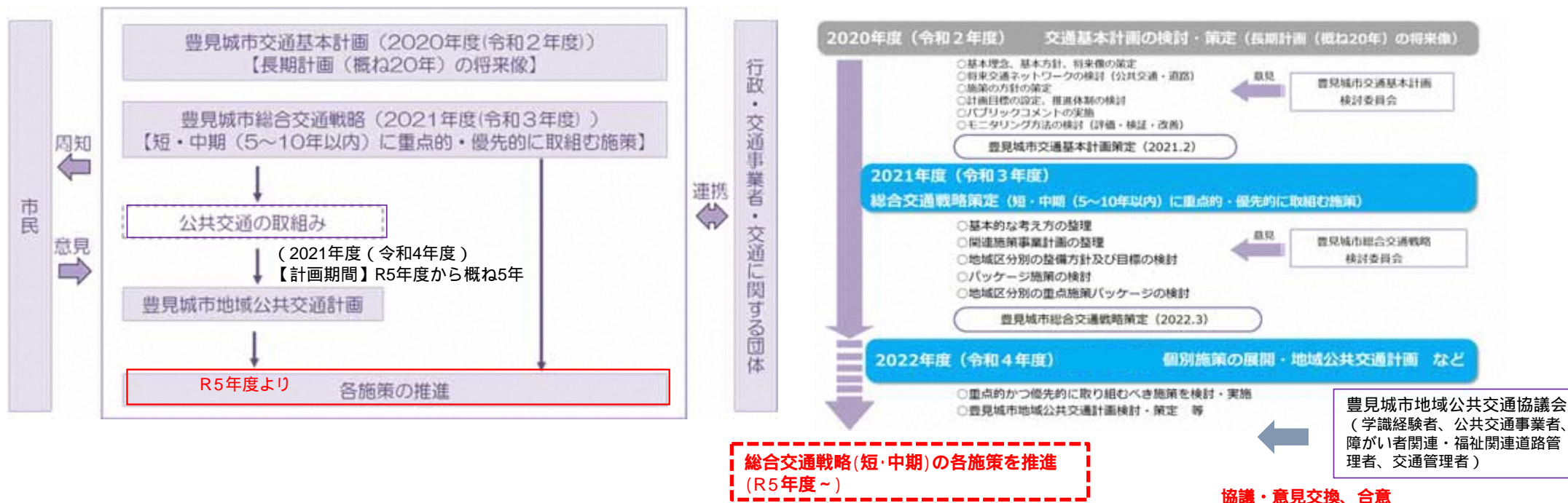


図1 計画の位置付け・目標年次

# ○豊見城市の交通施策の取組みについて

「地域公共交通計画」の位置付けは、市の交通に関する計画の1つとして、「総合交通戦略」における公共交通関連施策を推進する計画。目標年次は、令和5年度から概ね5年後となる令和9年度を目標としている。第5次総合計画では、「4-6公共交通サービスの維持・向上」の施策目標を掲げている。交通施策は、まちづくり、観光など市関連施策と密接に関係。

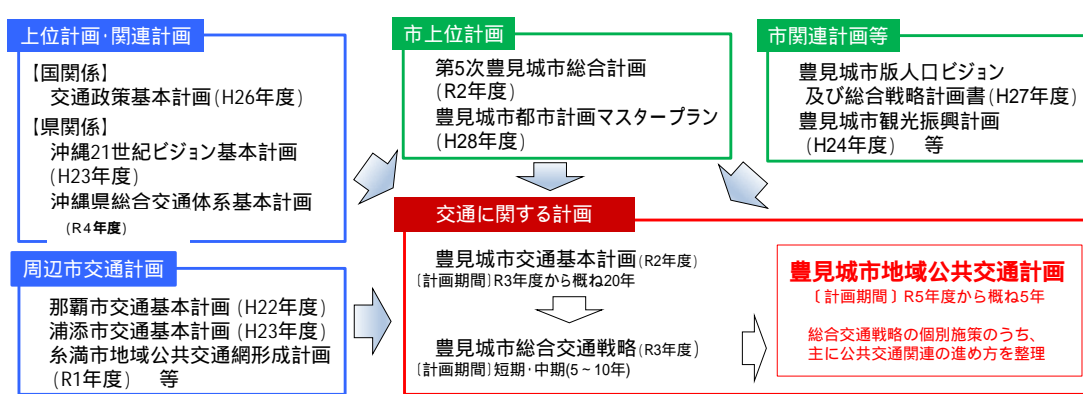


図2 計画の位置付け

## 【市関連計画】について

交通施策は、まちづくり、観光、交通弱者（学生、高齢者、福祉など）の 施策目標と密接な関係あり。

### 豊見城市観光振興計画（R5年度予定）

環境にも配慮した交通インフラの充実（公共交通機関の充実、エコドライブの推進、レンタサイクルの導入）

### 豊見城市高齢者保健福祉計画（第9期）（R5年度予定）

（3）ひとにやさしいまちづくりの推進（高齢者の移動支援の充実）

### 豊見城市障害者計画及び第7期障害者福祉計画・第3期障害児福祉計画（R5年度予定）

7-1-2利用しやすい公共交通機関の整備（障害者に配慮した移動手段の検討）

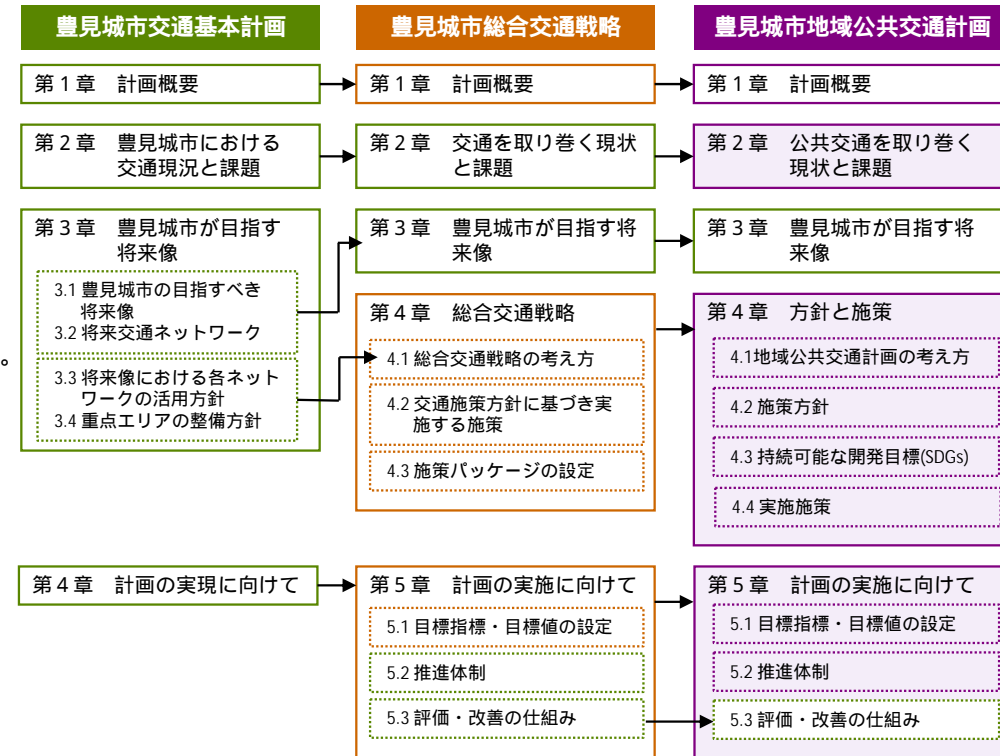
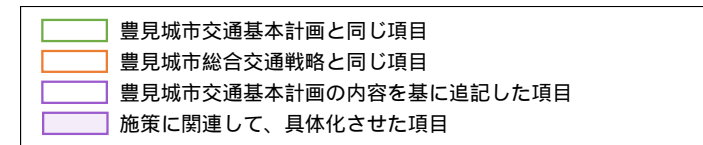


図3 計画の構成

## ○「豊見城市域公共交通計画」実施施策

基本方針	施策	個別施策	取組内容	整備スケジュール(イメージ)								
				令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度				
2. 誰もが使いやすい公共交通ネットワークの形成	新しい公共交通システムの導入	① 総合交通戦略【No.4】	LRT、モノレールなど基幹公共交通の導入検討の推進									
	路線バスの利用環境の拡充	② 総合交通戦略【No.5】	公共交通ネットワークの形成に向けた取り組みの推進	公共交通の需要が期待される市東部の利便性向上								
				豊見城市内一周バス(105番)のルート検証・見直し								
		③ 総合交通戦略【No.6】	公共交通の利用促進に向けた取り組みの推進	バス乗降データの取得・分析推奨								
				公共施設やコンビニエンスストア等と連携したバス待ちスペースの設置								
	多様なフィーダー交通網の構築	④ 総合交通戦略【No.7】	ラストワンマイルにおける交通手段の導入検討の推進	既存のバスナビアプリの利用促進のためのPR								
				バス運行関連情報のオープンデータ化への取組推奨								
				ラストワンマイル交通の導入検討								
	交通結節点の整備	⑤ 総合交通戦略【No.8】	交通結節点の整備の推進	グリーンスローモビリティの導入検討								
				シェアサイクル等の利用促進								
				豊見城市役所								
	MaaSをはじめとする新たなモビリティサービスの活用	⑥ 総合交通戦略【No.9】	MaaSをはじめとする新たなモビリティサービスの活用の推進	道の駅豊崎周辺								
真玉橋、名嘉地、豊見城 IC												
現金から交通系 IC カード等への転換を促進												
4. クルマに頼り過ぎないライフスタイルへの転換	モビリティマネジメント(MM)、交通需要マネジメント(TDM)の推進	⑦ 総合交通戦略【No.17】	モビリティマネジメント(MM)、交通需要マネジメント(TDM)の推進	MaaS サービスの活用検討								
				タクシーとバスを組み合わせた割引検討								
				モビリティマネジメント(MM)								
				通勤におけるモビリティマネジメント								
				学校教育におけるモビリティマネジメント								
				転入者を対象としたモビリティマネジメント								
				公共交通利用に向けた周知啓発								
				交通需要マネジメント(TDM)								
				パーク&ライド駐車場を活用した公共交通への転換								
				ノーマイカーデーの実施								
エコ通勤の推進												

# ○「豊見城市域公共交通計画」における指標・目標値

## 第5章 計画の実現に向けて

### 5.1 目標指標・目標値の設定

「豊見城市域公共交通計画」の個別施策が有効に効果を発揮しているか確認し、計画の達成状況を評価していくため、国による「地域公共交通計画等の作成と運用の手引き」を参考に指標を設定し、計画年次となる令和9年度における目標値を設定しています。

表 17 地域公共交通計画の指標・目標値

目標	指標	目標値		目標値の考え方			
		現況	令和9年度				
誰もが使いやすい公共交通ネットワークの形成	路線バス	① 人口規模の維持（公共交通カバー人口）	55,217人（R2年度）	増加			
		② 公共交通カバー率（面積）	69.9%	現状維持			
		③ 公的資金が投入されている公共交通事業の収支率	34.9%	向上	対象：豊見城市内一周線（105番）		
		④ 公共交通への公的資金投入額	7,642千円（R4年度）	低減			
		⑤ 市内一周線バスの利用者数	80,311人（R1年度）	82,800人			
		⑥ 住民等の公共交通の利用頻度	5.2%（R1年度）	8.2%	「豊見城市総合交通戦略」と整合		
		⑦ 市内高校に通学する高校生の自家用車の送迎率	28.8%（R3年度）	低減			
		⑧ 地域内主要箇所からの通学・通勤・買い物等の主な目的地への移動手段の有無・便数	高校	63便	現状維持	各施設の最寄りバス停での運行本数を合算（同一路線の複数バス停は1箇所としてカウント）	
			病院	32便			
			商業施設	80便			
			公共施設	35便			
		⑨ 主な学校、病院、商店街付近のバス停等の有無	観光施設	56便	現状維持		
			高校	3箇所			
病院	3箇所						
商業施設	8箇所						
	公共施設	7箇所					
	観光施設	4箇所					
	バス待ち環境	⑩ バス待ちスペースの箇所数		5箇所	10箇所		年1箇所の増加
	サービス改善・情報化	⑪ 情報のオープン化（オープンデータ化）		3事業者	5事業者		市内全事業者の導入
⑫ 市内タクシー事業者におけるキャッシュレス決済の導入件数		クレジットカード	6事業者	6事業者			
		交通系IC	4事業者				
		QRコード	5事業者				
⑬ バス事業者HPの多言語化	3事業者	5事業者					

個別施策	目標指標												
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬
① LRT、モノレールなど基幹公共交通の導入検討の推進 【No.4】	●	●	●	●	●	●							
② 公共交通ネットワークの形成に向けた取り組みの推進 【No.5】	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			
③ 公共交通の利用促進に向けた取り組みの推進 【No.6】			●	●	●	●	●			●	●		
④ ラストワンマイルにおける交通手段の導入検討の推進 【No.7】	●	●	●	●	●	●	●				●	●	●
⑤ 交通結節点の整備の推進 【No.8】	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			●
⑥ MaaSをはじめとする新たなモビリティサービスの活用の推進 【No.9】			●	●	●	●	●				●	●	●
⑦ モビリティマネジメント（MM）、交通需要マネジメント（TDM）の推進 【No.17】			●	●	●	●	●	●	●				●